

令和3年度 今治市しまなみの駅御島指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市しまなみの駅御島
所在地	今治市大三島町宮浦3260番地
指定管理者	<p>名称 株式会社大三島ものづくり</p> <p>代表者 代表取締役 村上 恭雄</p> <p>住所 今治市大三島町宮浦3260番地</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運營業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課(問合せ先)	<p>産業部 交流振興局 観光課</p> <p>TEL : 0898-36-1541</p> <p>E-mail : kankou@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	B	<p>(株)大三島ものづくりがしまなみの駅御島の指定管理者となり10年目を迎えましたが、今年もコロナ感染防止対策による移動制限により大変苦しい運営をしました。そんなコロナ禍においても感染防止カーテン、換気対策、除菌対策等を行い当施設の設置目的、並びに、法令、平等利用を求める市条例等を順守し、出荷者との連携も問題無く令和3年度を無事に運営することができました。</p>	B	<p>適正に事業を履行されており、地域住民、観光客等の施設利用者対応についても概ね問題はない。職員が施設の設置目的や運営管理の基本方針をよく理解し、地域に根差した運営を行っている。</p>
利用状況	B	<p>今年度の利用客数は、今年もコロナ禍による移動制限が続き落ち込みましたが、年末年始の制限が緩和され入館者数も昨年と比較して110%とやや戻りつつあります。加工室においては若穂会の後継者が未定の為に利用者団体が増えたのに関わらず横ばいですが、うどんコーナーの利用者は増加しました。シャワー室の利用者はサイクリストの減少により少し落ち込む結果となりました。</p>	B	<p>令和2年度に比べ、入館者やうどんコーナーの利用者も増加し、観光客は戻りつつある。ただ、大山祇神社の例大祭や抜穂祭は令和3年度もコロナ禍で中止となり、大幅な利用者増には至らなかった。</p> <p>今後、感染症が収束した際は、利用者増となるような積極的な取り組みに期待したい。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
事業収支	B	<p>指定管理10年目となった今年度もコロナ禍による移動制限の中、しまなみの駅御島も感染防止対策を行い運営を行いました。大変残念な結果となりました。幸い、今期の決算は愛媛県及び今治市による安心飲食店奨励金、愛媛県マネジメントリーダー奨励金及び観光立県推進奨励金等の各助成金のお蔭で赤字は¥-534,102と抑えることが出来まして、令和2年度の余剰金で何とか補填することができました。来期もまだまだコロナによる影響が続くと思われませんが、年末より少しずつ来駅者も増加に転じてきていますし、特産品の柑橘類の発送が増えてきていますのでさらなる収益の増加に努めたいと考えます。並びに、交通誘導費・清掃・植栽費、維持修繕費等を次年度も役員各位の協力を要請するなど工夫して経費削減に努め、収益の改善に努めたいと考えます。</p>	B	<p>加工品収入、非加工品収入ともに昨年度より増加し、赤字ながら奨励金や助成金を活用し、雇用を維持しながら業務を継続できたことは評価できる。</p> <p>今後も、新型コロナウイルス感染症の動向に注視いただき、業務の継続をお願いしたい。</p>
管理運営体制	B	<p>しまなみの駅御島の指定管理者として10年目を迎えましたが、今年度もコロナ禍の中、移動制限が出されており感染防止対策により今年度開催予定の各イベントも全て中止となってしまいましたので、今年度計画していました職員の先進道の駅研修、道の駅連絡協議会並びにラントウレーベン交流祭等も中止となりました。</p>	B	<p>駅長を筆頭に限られた人員の中で、職員の適切な配置がなされている。令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、感染者を出さなかった点は評価できる。今後も引き続き、施設の管理運営のための情報共有に努めて頂きたい。</p>

課題	指定管理者自己評価	市による評価
<p style="text-align: center;">管理運営業務</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p>植栽、清掃、保守、警備、施設修繕等は役員と職員が一体となって業務基準法に基づき適切に管理、運営しております。今年度も引き続きコロナ感染防止対策として店内外のレジ及びサービスカウンターとうどんコーナーにビニールカーテンシールドを設け、従業員にはマスクを支給し、店内入口には消毒液を配置して来駅者に感染防止対策の協力要請の標示をした。更に、店内にオゾン発生器100㎡2台を設け殺菌対策も行っており、並びに、連絡用ホワイトボード標示板を設け、それに伴う万引き防止対策として監視カメラを設けています。また、御島のトイレも洋式化にリニューアルされましたので、各洋式便器に便座消毒液を配置し、トイレ掃除は職員のローテーション方式に切り替え、全員が気を付けて管理出来るようにし、これからも地域の方々、並びに、お客様方に少しでも気持ちよく喜んで御来駅頂けるように努力していく所存です。</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p>仕様書に基づき、適切な管理運営業務に取り組まれている。令和2年度からオゾン発生器の設置や接触箇所の除菌を継続して徹底したことは評価できる。令和3年度、大きなトラブルはなかったが、今後も安心・安全な施設運営ができるよう、日頃のチェック体制や点検作業、備品の修理や施設の保守などにおいても、適切に対処していただきたい。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
利用業務	B	<p>しまなみの駅御島の指定管理者として10年目を迎えましたが、今年度においてもコロナ感染拡大が収まらず、年度計画を大幅に縮小せざるを得ない事態となりました。今年度のしまなみの駅御島の利用客数は増えると予想し、目標を令和元年度と同程度としていたのですが残念ながら最低の昨年度より微増の結果となりました。自主企画イベントですが今年度も引き続き大三島地域おこし協力隊の大橋健太郎さんがキッチンカーショップ「プエンテグランデ」の営業を週末にされキューバサンドイッチを販売されましたが、他のイベントが実施できず思うように集客できず48%に留まりました。物品販売の増収ですがコロナ禍による柑橘の宅配注文の増加と運賃の高騰によるものと思われます。加工室においては登録者数が増加したものの利用日数が減少した結果です。うどんコーナーは計画目標を大きく増やしたのですが70%の売り上げは良しと思います。シャワー室の利用者数は昨年を下回る過去最低数でした。今後は早くコロナの感染拡大が減少することとワクチンの接種率が上がり観光客の移動制限が無くなることを望むだけです。</p>	B	<p>新型コロナウイルス感染症の観点から、積極的なPRは難しかったと思われるが、うどんコーナー収入及び物品販売収入が令和2年度より増加し、施設が活用された点については評価できる。また、柑橘の宅配注文の増加は、今後も更なる増加が見込めるため、郵送対応の周知により「道の駅」のリピーター、ファンの増加につながるように、施設の運営・サービスの提供をお願いしたい。</p>
その他業務	B	<p>令和3年度もコロナ感染防止対策を取りながらの厳しい運営でした。そんな中にありましてもしまなみの駅御島において事故も無く無事に管理運営が出来ましたことは防火管理者の日頃の安全対策の賜物と考えています。万が一の事故発生時の対応についても常日頃から職員教育を行って参りましたので災害時の避難場所となる場合の被害者の救済、保護、応急措置を講じることや、関係機関への緊急連絡などの方法等について周知徹底を図ることができていると考えます。また、令和2年3月に新たに四国クリエイト協会より御島へ防災倉庫の贈呈がありしまなみの駅御島の地域防災への役割が増すものと考えます。更に各役員も2名ずつ毎月交代で担当月を決めて管理しており、緊急時の連絡体制も整っております。</p>	B	<p>大きなトラブルや事故はなく、「道の駅」の管理運営ができています。自然災害の発生に備え、職員教育を実施するなど、防災に対する意識づけが常日頃からなされている点は大いに評価できる。各種災害に対するマニュアルも整備されており、寄贈を受けた防災倉庫も役員2名ずつ毎月交代で管理が徹底されている。今後も一層、利用者や職員の安全・安心に繋がるよう、利用しやすい環境の整備に努めていただきたい。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
修繕業務	B	<p>今年度はしまなみの駅御島うどんコーナーを愛媛県・今治市のコロナ感染対策の安心安全飲食店として審査を受け認定されました。その他の小さな修理は役員に各業種の者がいるので、無償にて対応してくれています。今年度の大きな修繕工事は館内の蛍光灯及び天井水銀灯照明のLED化を市が随時取り換えして頂き随分と店内が明るくなりましたが、他のダウンライト蛍光灯及び白熱灯照明のLEDへの交換を希望します。特にツイン蛍光灯電球は値段も高く寿命も短いのでかなりの負担となっています。年数が経ち老朽化している機器については、今治市と協議を行い、今後の計画的な対応を検討したいと思えます。</p>	B	<p>市と協議をしながら適切に修繕業務が行われている。指定管理者の努力により、自主的な修繕が行われている点は大いに評価できる。今後も新たに利用者、従業員の利便性向上を図る上で、必要であると考えられる修繕箇所については、優先順位を決めて計画的な修繕を行っていただきたい。</p>
備品管理業務	B	<p>今年度も備品購入は経費削減の為に出来る限り控えるように運営しましたが、うどんコーナーの安心安全飲食店としての認定に係るもの及び来客のコロナ感染防止対策は特例として多くの除菌剤等を購入しました。今後、懸念されるのが加工室の調理機器です。現在、修理・調整をしながら対応しており、経費の節約に努めています。他に、毎年恒例となった、イルミネーションサービスは、付近の方々からも大変好評を得ているので、劣化したもの等交換が必要なものは今後も少しずつ対応していく計画です。</p>	B	<p>施設の運営状況を把握し、適切な備品管理が実施されている。令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のための各種備品の整備により、感染者を出さなかったことは評価できる。今後の新規備品の購入については、市と協議をしながら収支向上を考えたうえで検討し、適切に管理を行っていただきたい。イルミネーションサービスについても地域住民等からも好評であり、取組みは評価できる。</p>
行政財産の目的外使用許可手続業務	B	<p>今治市公有財産事務取扱規則に基づき使用許可申請し、適切に運用を行いました。ただし、コロナ禍の移動制限による観光客及びサイクリストの減少によりしまなみの駅御島そのものの利用者数が減少しまして自動販売機の売上げ手数料並びにうどんコーナーの売上げも復活すると予想して計画としていましたが残念な結果となりました。しかし、このような状況にありながらも、うどんコーナーの売上げはまずまずの成績であると考えます。また、収益は施設の維持管理運営費に充当しています。</p>	B	<p>適切に実施されていると認められる。今後も適切な業務を実施していただきたい。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
自主事業	B	<p>例年しまなみの駅御島の自主事業は、販売促進のために役員が地域のイベントに積極的に参加して多くの協賛イベントを実施していましたが、今年度も新型コロナ感染拡大対策により全てのイベントが中止となり活動することが出来ませんでした。また、今年度も道の駅連絡協議会・愛媛県・今治市共催の各クーポンに参加しましたがコロナ感染対策防止による移動制限によりその収益向上に結びつきませんでした。外国人観光客は一昨年までは段々と増加傾向が見られましたが、今年度も昨年に続きコロナによる影響が顕著でピタッと客足が止まりました。地域貢献イベントとしては、例年恒例の年末・年始にイルミネーションサービスを行い地域の皆さんに好評を得ました。特記すべきこととしては、令和3年度JAF会員優待サービスクーポン、今治市子育てファミリー応援ショップサービスクーポンの景品が参加者から非常に喜ばれております。また、大三島地域おこし協力隊の大橋健太郎さんがキッチンカーショップ「プエンテグランデ」を今年度も引き続き営業されてイベント収入ができたことです。</p>	B	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点で、予定していたイベントの実施が出来なかったのは残念である。一方で、クーポンの景品等の連携により利用者増を目指し、収入の増加に結びつけたことは評価できる。</p> <p>アフターコロナに向けて、社会の変化や利用者のニーズを踏まえた新たな事業、イベント等の実施に期待する。</p>
地域団体との連携	B	<p>今年度もコロナ感染拡大防止により全てのイベントが中止となりまして残念な結果です。そんな中にありまして第一加工室を利用している各団体がしまなみの駅御島特産品を製造販売され、大三島地域おこし協力隊の大橋健太郎さんもキッチンカーショップ「プエンテグランデ」を今年も出店し、キューバサンドイッチを販売され大変好評を得ています。来年度は少しでもコロナ禍が治まり各イベントが開催されるように願うばかりです。</p>	A	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、加工室での製造販売を通して、地域の連携体制を維持し、地元農産物の販売促進に繋げていくことは、非常に重要な試みである。コロナ禍で収入の減少した地元の生産者の受け皿としても機能しているため、今後も、出荷者や地域団体との連携を今まで以上に密にし、地域の活性化を目指していただきたい。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
利用者アンケート	B	<p>去年から引き続きコロナの影響で厳しい営業状況となりましたが、近年新しく加工室利用を始めていただいた「にこパン」が利用者様に好評をいただくなど、良いこともありました。これからも地元で新しく事業を始めたい方たちの手助けができるように努めます。これからも利用者様に、気持ちよく利用して頂ける道の駅になれるよう努めてまいります。</p>	B	<p>アンケートの実施等、適切に取り組まれている。入り口の段差にもマットの設置等で迅速に対応できており、概ね良好に事業の実施がなされている。今後も利用者の生の声を施設運営に反映させ、利用者の利便性を高められるように努めていただきたい。</p>
事故・苦情	B	<p>令和3年度もコロナ感染防止対策をしながら運営する大変な年となりましたが幸いに事故も感染者も無く無事に運営することが出来ました。万が一の事故発生時の対応については、防火管理者である駅長や副駅長が災害時の避難場所となる場合の被害者の救済、保護、応急措置を講じることや関係機関への緊急連絡などの方法等について周知徹底を図ることができています。各役員も2名ずつが毎月交代で担当月を決めて管理しており、緊急時の連絡体制も確立していますが今後も感染防止対策を怠らずに運営していこうと思います。</p>	B	<p>大きなトラブルや事故の発生はなく、適切に管理運営できている。指定管理者10年の経験におごることなく、職員のスキルアップに日々努めるなどし、事態発生時の迅速な対応がとれるよう管理運営体制が構築されている。今後も引き続き、新型コロナウイルス感染症の3密回避に対する対策など、利用者の安全・安心に配慮した運営を実施していただきたい。</p>
指定管理者の経営状態	/		<p>○会計帳簿、貸借対照表及び損益計算書については、法令及び定款に従い、適正に作成されていると認められる。 ○指定管理者の経営状況については、財務諸表から利益剰余金を確保していることが確認でき、指定管理施設の管理を安定して行う物的能力を有していると認められた。</p>	

総合コメント（市）

指定管理者は、今治市しなみの駅御島条例及び施行規則並びに業務仕様書に基づき、施設の特性を踏まえた管理運営に努めており、指定管理業務の履行が適正に実施されていると認められる。

指定管理業務のモニタリングの結果、指定管理者としては標準的なレベル以上の取り組みであると認められる。

平成30年7月豪雨及び令和2年以降のコロナ禍の影響を受け、「道の駅」の利用者数・収益の不調が続いているが、今年度は非加工品及び加工品売上、物品販売収入、うどんコーナー飲食提供収入が前年より増加し、奨励金や助成金などを活用して雇用を維持しながら、業務を継続できたことは評価できる。ただ、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて全てのイベントが中止となったり、外国人観光客を含めた利用者は回復に至らず、今年度も打撃を受けることとなった。このような状況下ではあるが、これまで築き上げてきた地域コミュニティとの繋がりや各種団体との連携をより強固なものとし、利用者の利便性向上に努めていきたい。

施設の設備についても、老朽化した備品や修繕箇所等については市と協議をし、利用者が快適に使用できる環境を整備するなど、今後も「道の駅」のファン、施設利用者の獲得を目指し、取り組んでいきたい。